

○令和3年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

冬のレク&スポーツ体験～バイアスロンを体験しよう～

【R4.2.13 (日)】

◆目的

2022年北京オリンピックの開催を契機に、冬の特性を活かした競技体験を通して、屋外活動に興味・関心を持つ機会とする。

◆参加実績 (定員30名)

参加者 24名
・小学3年生~6年生 24名

◆プログラム

① バイアスロンを体験しよう (射撃、クロスカンントリー)・・・(120分)

一般社団法人冬季マスターズスポーツ協会 理事 宗片 博文 氏
一般社団法人日本バイアスロン連盟 向井 雅明 氏

・2グループに分かれそれぞれ、クロスカンントリーの滑走練習、バイアスロンの射撃練習を行った。講師の方からどうすればうまくスピードに乗れるのか、安全に銃を使用しながら的に当てることのできるのかなどを学んだ。



② バイアスロンを体験しよう (ミニゲーム)・・・(120分)

・5チームに分かれ、リレーゲームを行った。本番さながら射撃にペナルティを設け、午前中に習得した力を発揮しながら頑張る姿が見られた。また、お互いに声を掛け合いながらチームで優勝を目指す姿が見られた。



◆事業運営・企画のポイント

- 当施設の特徴である「クロスカントリー」を活かすことができるような内容にするため、オリンピックの開催を契機として、競技種目である「バイアスロン」の体験を選んだ。
- 講師をお呼びし、専門的な指導をしていただくことで参加者がより競技について理解を深めることができるようにした。
- 新型コロナウイルス感染対策や、バイアスロンで使用する銃の安全管理などを徹底するために準備段階から対応する職員を増やし実施した。

◆参加者の声

- 今回初めてバイアスロンを体験して、やっぱり最初は全然滑ることができなかったけど、だんだん慣れてきてバイアスロンの楽しさをとても感じられました。

◆事業の成果と課題

- ①普段から施設利用をしている団体に講師の依頼をしたことで、競技の指導とともに、施設利用について広く知ってもらう機会とすることができた。
- ②参加者からは、「今回の体験を機に、バイアスロン（クロスカントリースキー）をやってみたい」という声が聞かれるなど、バイアスロンを通して冬のスポーツに興味をもつきっかけとすることができた。
- ③初心者を想定していたが、中には地元の少年団などクロスカントリーをやっている参加者もいたので、ハンデを設けたり、距離を縮めたりするなどして参加者のレベルに合わせた体験をできるように工夫が必要であった。